

事業者行動計画書（変更計画書）

平成 29年 7月 31日

（宛先）

滋賀県知事 三日月 大造 様



提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）
大阪府茨木市宇野辺 1-1-47

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）

日世株式会社 代表取締役社長 岡山 宏
（代理人） びわ湖工場工場長 山田 敏夫

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 第20条第3項・第20条第4項
第22条第1項—第22条第2項において準用する同条例第20条第4項 の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）	日世株式会社 代表取締役社長 岡山 宏
事業者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	大阪府茨木市宇野辺 1-1-47

1 事業所の概要

事業所の名称	日世株式会社 びわ湖工場		
事業所の所在地	滋賀県犬上郡多賀町大字四手字諏訪 510-7		
主たる事業	細分類番号	0 9 1 4	乳製品製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者		
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者		
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者		

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

1 計画期間

計画期間	平成29年度～平成34年度
------	---------------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち日世グループは、企業理念の行動規範「Ecological mind～人にやさしく、地球に優しく！社会、環境との調和をめざそう～」のもと、安全・安心・品質第一を基本とした商品やサービスの提供を通じて、お客様に笑顔を届ける存在であり続けられるよう、地球環境の大切さを十分認識し、環境保全と資源の節約に配慮した企業活動に取り組んでまいります。

(1) 法令順守

事業活動に関わるすべての環境関連法令、条例、協定を遵守します。

(2) 環境への配慮

省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクル活動の推進とともに、環境に配慮した技術を採用することで、環境汚染の予防と循環型社会の実現に努めます。

(3) 環境意識の維持と向上

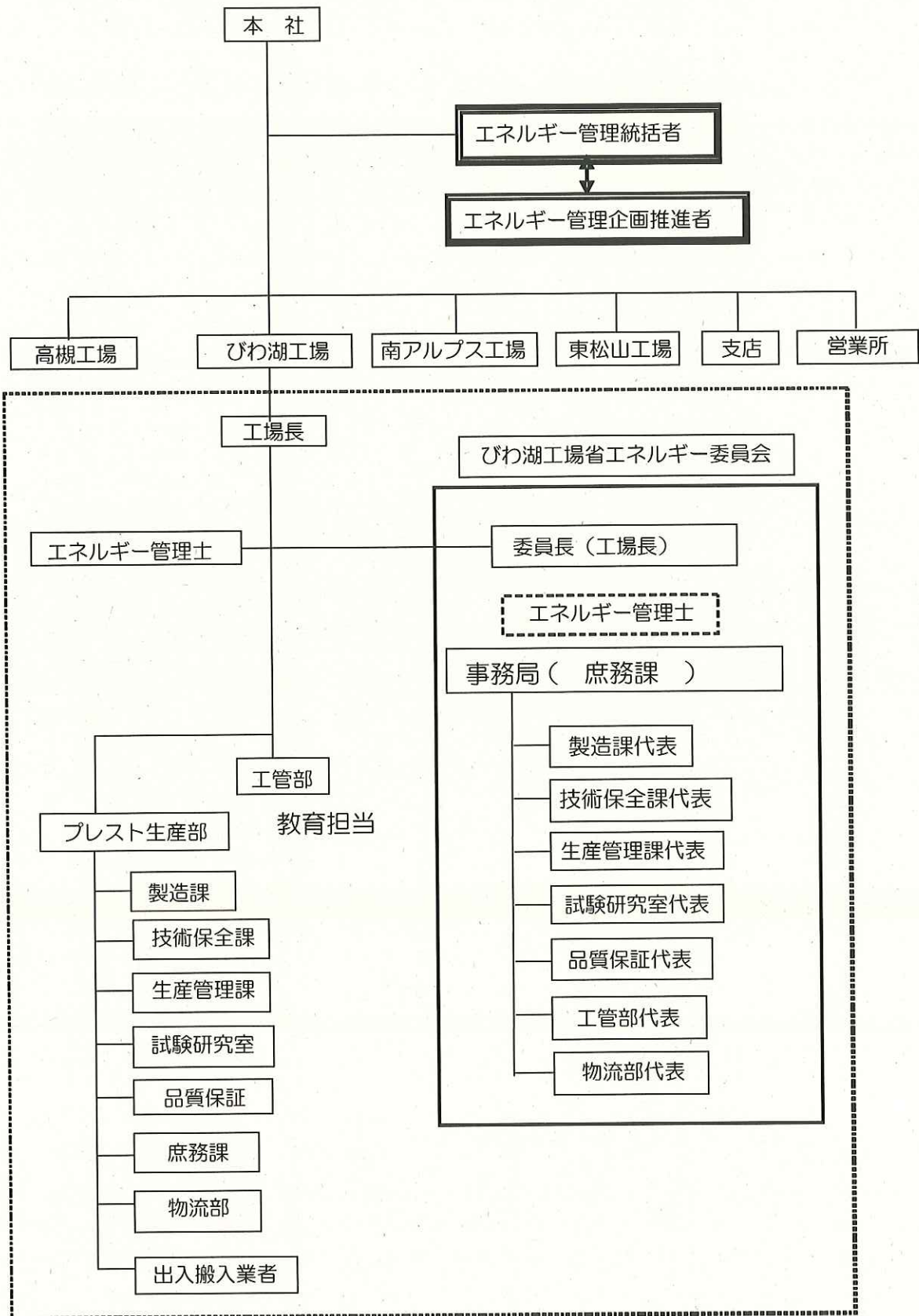
適切な教育や訓練を通して環境方針の内容を理解し、一人ひとりが環境活動の主体であるという自覚を持ち行動することで、環境意識の維持と向上を目指します。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

別添（エネルギー管理組織図）のとおり

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

日世(株)びわ湖工場のエネルギー管理組織図



(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

照明器具の Hf 蛍光灯、LED 照明への更新。

照明器具のスイッチの切り分けを行い、不要箇所の消灯。

蛍光灯の間引き。

エアコン、倉庫空調の不要時期の待機電流カット。

空調、冷凍機室外機に水噴霧装置の取り付け。

製氷機の運転見直しで、昼間運転を少なくしできるだけ夜間に運転するようにする。

受電設備の低負荷トランスの休止。

製造機器殺菌時間の短縮。

送液ポンプのインバーター運転。

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	工場内の蛍光灯をHf、LED器具に更新する。 【平成29年度分、100台で年間3t-CO ₂ を削減予定】	平成29年度～34年度
2	設備導入対策	自動倉庫屋根部に日よけ。	平成30年度
3	設備導入対策	機械室(ボイラー、コンプレッサー)の排気ファンのインバーター運転。	平成30年度
4	設備導入対策	空調、冷凍機を効率の良いものに更新。	平成29年度～34年度
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

上記(1)、(2)の取り組み等により、H28年度を基準年度として、

原単位 = (温室効果ガス排出量 ÷ 生産量 (千kリットル)) の毎年1%削減の

達成を目指します。